

イスラエル経済月報(2017年5月)

在イスラエル日本国大使館 (担当: 経済班 松本理恵)

<目次>

| | |
|---|----|
| イスラエルの動き (主な報道, 2017年5月) | 2 |
| 主要経済指標..... | 4 |
| 1. 経済成長率 (GDP) | |
| 2. 消費者物価指数 (CPI) | |
| 3. 貿易 (Export & Import of Goods) | |
| 4. 失業率推移 (Unemployment rate) | |
| 5. 為替推移 | |
| 6. 公定歩合 (interest rate) | |
| 7. 外貨準備高 (foreign reserve) | |
| 8. 主要株価推移 (TA35) | |
| 日本-イスラエル 経済関係 (5月) | 8 |
| 丸川五輪担当大臣, イスラエルを訪問 | |
| 世耕経産大臣, パレスチナ・イスラエルを訪問 (1~5日) | |
| 鶴保科技担当大臣, イスラエルを訪問 (2~6日) | |
| 大塚製薬, テバの片頭痛予防薬を国内独占開発・販売へ (15日) | |
| SBIらが BioMX 社に計 2,400 万ドルを投資 (22日) | |
| 展示会・国際会議の今後の予定..... | 11 |
| スタートアップ DLD Tel Aviv (9月3~7日, テルアビブ) | |
| 水技術 watec 2017 (9月12~14日, テルアビブ) | |
| スポーツ技術 APCST (10月15~19日, テルアビブ) | |
| セキュリティ NexTech 2017 (10月18日, ベエルシェバ) | |
| 医療 CAST (10月22~23日, テルアビブ) | |
| 医療機器 IDAN (10月24~26日, テルアビブ) | |
| 医療 RCINGSCM (10月31日~11月1日, ヘルツェリア) | |
| 産業技術 technology2017 (10月31日~11月2日, テルアビブ) | |
| 医療 イスラエル麻酔学会国際会議 (11月7~8日, テルアビブ) | |
| 無人機 UVID 2017 (11月9日, エアポート・シティ) | |
| 空調設備 ACLIMA (11月7~9日, テルアビブ) | |
| 家具 TIMBER 2017 (11月21~23日, テルアビブ) | |
| 食・サービス Food & Hospitality Week (11月28~30日, テルアビブ) | |
| ライフサイエンス ヘルスケア技術革新 (12月3~6日) | |
| 医療 ICI 2017 (12月3~5日, テルアビブ) | |
| 都市 MUNI EXPO (2018年2月13~14日, テルアビブ) | |
| 医療 国際 ADHD 会議 (2018年3月19~21日, テルアビブ) | |

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道，2017年5月）

（出典：報道）

- 4日 イスラエル企業4社（Solebit, Coralogix, Velsostrata, Illusive Technology）が、マイクロソフトアクセラレータに招かれ、シアトル及びシリコンバレーでプレゼン。
- 4日 エルアル航空、11月にテルアビブ-マイアミ間の直行便を開設。ニューヨーク、ロサンゼルス、ボストン、トロントに続き、直行便が飛ぶ北米で5番目の都市に。
- 5日 4月の自動車出荷台数は前年同月を15%下回る19,515台。今年は連休日程の関係で経済活動が小さかった。台数順は、ヒュンダイ、キア、トヨタ、スコダ、日産。
- 7日 4月期の税収は241億NISに達し、前年同月比10.8%増。財務省の当初見通しを上回る伸びであり、年間予測は上方修正された。ただし、不動産関連税収は20%減。
- 7日 モービルアイに次ぐスタートアップはどこか？ エルサレムポスト紙の予想5社はArgus Cyber Security, Zebra Medical Vision, Lemonade, Hometalk, Moovit。
- 8日 経済紙マーカールの年次調査「ベスト雇用主ランキング」で、グーグルがイスラエル電力公社を破り1位に。給与水準、待遇、雇用主との関係などを考慮した総合順位。
- 8日 韓国とのFTA、数次の交渉を経て5月末にソウルで署名に至る見通し。自動車や電化製品の免税が含まれ、消費者や輸入業者への恩恵は年1億ドルに上ると見られる。
- 9日 高級チーズ製造大手のGad社とShomron社が合併を検討中。欧米市場を目指す。国内市場はTnuva社が過半を占め、独禁委は本合併を問題視しないと見られる。
- 9日 第1四半期に、イスラエル国内でプライベートイクイティファンドが行った投資は24件、3.16億ドル。直前期からは約半減したが、前年同期比では21.5%伸びた。
- 10日 4月期の外国人観光客数が34万9千人（前年同期比38%増）で、史上最高値に。観光省によれば、イスラエル観光の低価格化や、フライトの増加などが要因。
- 11日 ウェブサイト作成支援ツールのWix社は、第1四半期の利益が好調であるとして、2017年の収益予測を4.17~4.19億ドルから4.21~4.23億ドルに上方修正した。
- 12日 3年の政治闘争を経て、ついにイスラエル放送公社（IBA）に変わる新たな公共放送「Kan」が放送を開始。5月15日午後5時から、ニュース、ドラマなど放映。
- 12日 イスラエル企業の理事の5人に1人は「海外の入札で、自社が理事会に黙って外国官僚に賄賂を渡している」と考えている。GTI社調査（対象70人、回答率70%）。
- 14日 ベングリオン空港の第1ターミナルが再オープン。LCCの到着便専用ターミナルとして稼働する（出発便は、引き続き他の国際便と同じ第3ターミナルとなる）。
- 15日 投資銀行の調査によれば、モービルアイに続き大型買収の対象になりそうなイスラエル企業の筆頭はWix。これにGilat Satellite Networks, Radwareが続く。
- 16日 税当局によれば、モービルアイ買収に伴う税収11億ドル（源泉徴収）はドル建てで支払われる。為替相場やシェケル高の影響を避けるための措置だという。
- 16日 イスラエルのスタートアップは、第2四半期前半で既に4.5億ドルを調達している。全体では約10億ドルとなり、第1四半期の10.3億ドルと同水準となる見込みだ。
- 16日 テルアビブのファストレーン（優先道路）入札の予備的審査に、6グループ13社が参加。入札委は、ファストレーンで公共交通への乗り換えが進むだろうと見る。

- 16日 スマートカー技術を有する Karamba Security 社が国内外の VC から 1,200 万ドルの調達を終了。米パラディンなど 3 社にとっては、イスラエルで初の投資となった。
- 18日 エアバスが、イスラエル航空工業の航空機牽引ロボティックシステム「TaxiBot」を承認。エアバスの A320 シリーズへの運用で、欧州航空安全機関の認証を得た。
- 22日 イスラエル中央銀行の年次報告書によれば、シェケル高により外貨準備が 2016 年に 53 億 NIS 目減りした。特に対ユーロでシェケルは大幅に高騰している。
- 22日 モービルアイは、インテルの 153 億ドル買収劇を経て、エルサレムに 30 階建ての新本社ビル建設を計画。現在従業員は 660 人だが、4,000 人まで収容可能となる。
- 22日 労働組合ヒスタドルートの会長選は火曜日に行われる。53 万人の会員が参加予定。事前調査によれば、現職のニッセンコーン会長が支持 52% で優勢（対抗馬は 38%）。
- 23日 コワーキングスペースの Urban Place が、個人投資家から 1,200 万ドルを調達。18 カ月前に開業したばかりで、今後、パリなど欧州にも拠点を開設していく。
- 24日 マイクロソフト、サイバーセキュリティスタートアップ Hexadite を 1 億ドルで買収。サイバー攻撃をランク付けし、緊急度の高い攻撃を知らせる技術を有する。
- 24日 低価格カフェ Cofix が世界展開へ。既にロシアに進出し、モスクワに 6 店舗を展開。イスラエル国内ではカフェ 133 店とスーパーマーケット 29 店を運営している。
- 24日 シュトラウスグループ、チョコレートブランド「マックスブレナー」を、国内の加盟店に 500 万ドルで売却する。主力ビジネスに集中する同グループの新方針の一環。
- 25日 労働組合ヒスタドルートの会長選は、ニッセンコーン現会長が 59% を獲得したが、裁判所から不正の疑いがあるとして開票中止命令があった。
- 25日 買物用ビニール袋が、2017 年 1 月から有料化されたことで、第 1 四半期の利用量は 80% 減少。0.1 NIS の低価では効果がないとの批判もあったが、激減した。
- 25日 エイラット近くに新設されるラモン空港について、ステイマツキ社が構内書店の入札に勝利。5 年契約で、出国者向けと一般向けで各 1 店舗が開設する。
- 26日 カリッシュ・タリン天然ガス田の権益を有するギリシャ Energean 社が、同ガス田の最初の供給契約を結んだと発表。相手は Or Energy 社と Dalia Power Energy 社。
- 28日 エルビット社が欧州の国から約 3.9 億ドルの受注を得る見込み。各種インテリジェンスサービスや、通信・命令・制御システムなどを含む 3 年間の供給契約となる。
- 28日 ベングリオン空港到着客向けタクシーの入札がキャンセル。業務を独占してきたハダル社は、大幅値下げ要求を受け入札辞退。当面、誰でも登録のみで待機が可能に。
- 28日 中国の深セン国際生物学研究所が、イスラエルの製薬企業ジオンメディカルに投資。癌治療薬など同社製品の中国市場における製造・販売に関する権利を取得した。
- 28日 ネタニヤ市は、海沿いのキリヤット・ノルダウ地区の開発計画を完成させた。計画は、住宅 4,000 戸の新規建設を含む。今後、さらに 3 地区の計画が立てられる予定。
- 29日 ハレルトンネルから 1 号線モツァ橋までをつなぐ 3 番目の道「テルアビブ-エルサレム高速道路」が来週開通。同時に、同区間の制限速度が原則 110km に引き上がる。
- 29日 通信大手パートナー社、ネットフリックスと提携。数週間のうち新規開始する TV サービスにおいてネットフリックスの配信動画が高品質で見られるようにする。
- 29日 米商品先物取引委員会が、先物市場向け製品を展開するフィンテック企業に助言するスキームを確立。アトランタでの会議で、18 のイスラエル企業が助言を得た。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

● 第1四半期の成長は期待を裏切るものであった

中央銀行は2017年の経済成長を3.7%と予想したが、中央統計局のレポートによれば、イスラエル経済は第1四半期に年率わずか1.4%しか成長しておらず、この予想を大きく下回った。



2016年の成長率は、第3四半期が年率4.1%、第4四半期が4.7%であった。

第1四半期の数字を見ると、固定資産への投資が6%下落した他、驚くべきことに、過去2年間成長のエンジンであった民間支出が1.6%低下した。他方で、世界の主要通貨に対してシェケル高であったにもかかわらず、輸出は8%上昇した。

現時点の数字は、当初見通しにすぎず、最近の同様の見通しは後から大幅に上方修正されている。

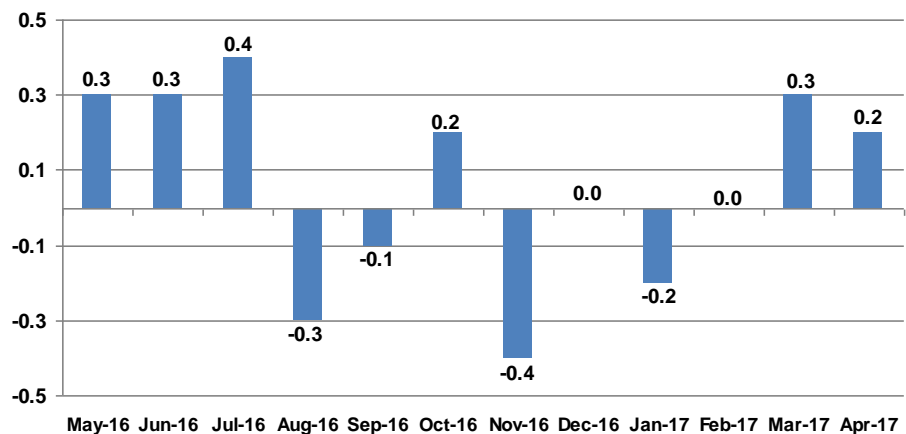
出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-israels-q1-growth-disappoints-1001188782>)

グラフ出典：中央統計局発表値より当館作成

2. 消費者物価指数（CPI）

● 4月期のCPIは前月比0.2%上昇

2017年4月期の消費者物価指数は、前月期に比べ0.2%上昇した。特に上昇が大きかったのは、レクリエーション・休暇（6.0%増）、生果物（5.5%増）、トマト（23.8%増）、衣料（1.8%増）であった。また、特に下落が激しかったのはキュウリ（10.9%減）、自動車（1.2%減）、燃料（2.3%減）であった。



出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201710132)

3. 貿易（EXPORT & IMPORT OF GOODS）

● 2017年4月期の貿易赤字（物品のみ）は57億シケル

中央統計局の発表によれば、2017年4月期の物品輸入は183億NIS、物品輸出は126億NISであり、貿易赤字は57億NISとなった。

物品輸入は、直前3カ月間で年率2.2%上昇した。輸入の43%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、19%が消費者製品、17%が機械、装置、産業機械であった。残り21%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。

物品輸出は、直前3カ月間で年率7.7%減少した。鉱工業製品の輸出が全体の89%を占め、残りのうち8%がダイヤモンド、3%が農林水産品であった。工業製品輸出に占めるハイテク製品の割合は、直前3カ月間で17.4%減少し、46%となった。中でも、電子部品及びボードの輸出が年率20.3%という大きな下落を見せた。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201716128)

4. 失業率推移（UNEMPLOYMENT RATE）

● 2017年4月期の失業率平均は4.4%で、前月（修正値）から上昇

中央統計局は、2017年4月期の失業率は4.4%であり、2017年3月期（修正値）の4.3%から0.1%上昇したと発表した。性別で見ると、男性は4.4%（前月比0.2%増）、女性4.3%（前月同）となった。

15才以上人口における労働人口は397.9万人、うち被雇用者数は380.5万人（男性201.1万人、女性179.4万人）となった。労働参加率は64.0%で、前月0.1%増となった。



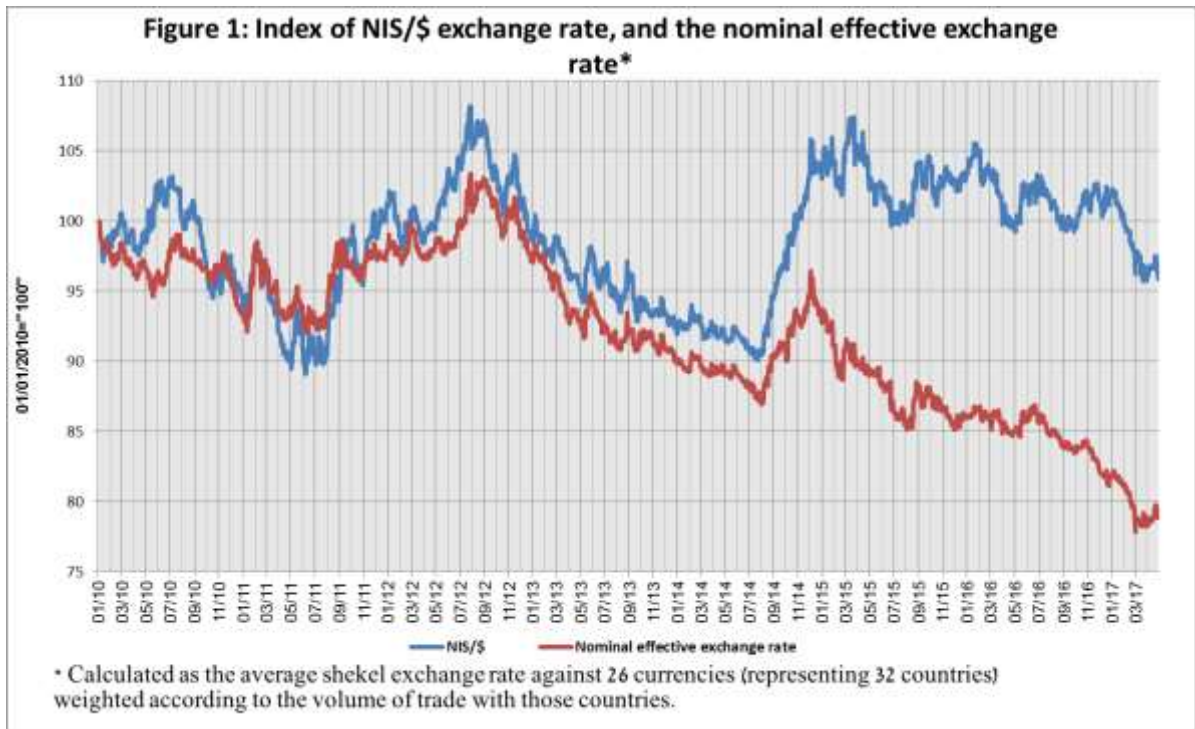
出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201720141)

5. 為替推移

● 世界的なドル安傾向の中、シェケルは対ドルで上昇

2017年4月期、シェケルは対ドルで約0.4%高、対ユーロで約1.5%安となった。イスラエルの主要貿易相手国に対する実効為替レート（貿易加重平均）は、約0.5%安となった。世界的には、4月期には主要通貨に対してドルは弱まる傾向にあり、対ユーロ1.8%安、対日本円0.5%安、対スイスフラン0.7%安、対英ポンド3.7%安となった。

為替市場全体の取引量は、約1,330億ドル（1日あたり取引量は約83億ドル）で、前月比2%増となった。



（※—：シェケル/ドル相場，—：実効為替レート）

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/09-05-2017Forigen.aspx>)

6. 公定歩合（INTEREST RATE）

● 公定歩合は0.1%で据置き。26カ月連続。

中央銀行は29日、公定歩合を0.1%に据え置くことを決定。連続26カ月にわたり歴史的な定率を維持している。据置きの理由は、インフレ率と年率インフレ期待は上昇したものの、目標範囲である1-3%を下回っていることである。

第1四半期の成長率が1.4%という失望すべき数字となったにも関わらず、中銀は以前楽観的で、「第1四半期の国民経済データや第2四半期の各種指数は、イスラエル経済が堅実に成長を続けていることを示している」としている。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/29-5-17InterestRate.aspx>)

7. 外貨準備高（FOREIGN RESERVE）

- 外貨準備はさらに上昇し、1,050 億ドルへ。しかしシェケルは以前強い。

中央銀行による8日の発表によれば、2017年4月末時点の外貨準備高は、過去最高を更新する1,051.4億ドルに到達した。

前月比19.7億ドル増加。理由は、中央銀行による9億ドルの外貨購入と、再評価による10.28億ドルの価値増加、政府移転4,500万ドルである。他方、民間移転により500万ドル低下している。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/7-5-17ForexReserve.aspx>)

8. 主要株価推移（TA35）

月間推移



年間推移



出典：テルアビブ証券取引所 (<http://www.tase.co.il/eng/pages/homepage.aspx>)

日本-イスラエル 経済関係（5月）

（出典：各社等発表，報道）

丸川五輪担当大臣，イスラエルを訪問

丸川東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣がイスラエルを訪問した。到着後はエルサレムを訪問し，イスラエルオリンピック委員会のビジターセンターで歓迎を受けた。その他のビジネスミーティングをこなし，72時間の滞在後，5月1日にイスラエルを後にした。

出典：Diplomacy.co.il ウェブサイト (<http://www.diplomacy.co.il/more/vip-visits/3785-minister-of-the-2020-tokyo-olympics-games-arrived-a-few-days-ago-for-a-brief-72-hour-work-visit-in-israel>)

世耕経産大臣，パレスチナ・イスラエルを訪問（1～5日）

世耕経済産業大臣は5月1日（月）～5日（金）の日程で，パレスチナ（ラマツラ、ジェリコ），イスラエル国（エルサレム）及びウクライナ（チェルノブイリ）を訪問した。イスラエル国での日程は以下のとおり。

（1）閣僚級日イスラエル経済政策対話の開催

世耕大臣とコーヘン大臣が出席し，初の閣僚級日イスラエル経済政策対話が開催された。世耕大臣とコーヘン大臣は、

2014年、2015年に両国首脳が往来して以来、日イスラエルの経済関係が急速に進展していることを歓迎するとともに、新たな時代の日イスラエルの経済関係の道筋を示す取組を「日イスラエル・イノベーション・パートナーシップ」として共同声明に署名した。同パートナーシップの主な内容は次のとおり。

- ①産業分野のサイバーセキュリティ強化に向けた協力
- ②ハイテク投資拡大に向けた産業 R&D 協力の強化
- ③企業間（BtoB）コミュニケーションの強化

（2）ネタニヤフ首相への表敬訪問

世耕大臣は、ネタニヤフ首相に対し、「日イスラエルイノベーション・パートナーシップ」を推進する旨の安倍総理の親書を手交するとともに、イノベーションを核とした両国間の協力をより広く、深く、迅速に進めるため、「日イスラエル・イノベーション・パートナーシップ」において、サイバーセキュリティ、産業 R&D、BtoB コミュニケーションを三本柱とした連携強化策に両国で取り組むことを述べ、高い評価が表明された。また両国企業は良い補完関係を築けるとの認識を共有し、企業間の関係強化に向けて取り組むことで一致した。



（3）モービルアイ社への訪問

世耕大臣は、1999年に設立された自動ブレーキ、無人運転などの自動車の安全技術を有するイスラエル発の企業であるモービルアイ社（本社：エルサレム）を訪問し、自動運転システムを搭載した自動車の試乗を行った。

出典：経済産業省ウェブサイト (<http://www.meti.go.jp/press/2017/05/20170508004/20170508004.html>)

鶴保科技担当大臣，イスラエルを訪問（2～6日）

5月2日から6日にかけて、鶴保内閣府特命担当大臣（科学技術政策、宇宙政策）、情報通信技術（IT）政策担当大臣はイスラエルを訪問し、アクニス科学技術大臣と会談。



- 1 両国の科学技術・宇宙・IT分野の取組が、Society5.0の実現をはじめ、両国の経済成長、社会の課題解決、国民の利便性向上に資すること、
- 2 人材育成、関連ビジネス、産業振興の観点もふまえつつ、今後も継続的に意見交換することが重要との認識のもと、3年ぶりに、「日イスラエル科学技術協力合同委員会」を東京で、年内に開催することを合意。

また、有識者も交えた政策対話の開催、宇宙分野でのJAXAとイスラエル宇宙庁との連携強化についても併せて検討していくこととした。

さらに、両国のベンチャー育成支援等を加速させるため、合同委員会の開催にあわせて、IoT、AI、データ利活用などの分野で、官民からなる協議体を立ち上げることとした。

このほか、サイバースパーク（サイバー関連企業団地）、イスラエル航空工業（IAI）、ネタフーム社、テクニオン・イスラエル工科大学などを訪問、意見交換した。

出典：内閣官房ウェブサイト (http://www.cao.go.jp/minister/1608_y_tsuruho/photo/2017-025.html)

大塚製薬，テバの片頭痛予防薬を国内独占開発・販売へ（15日）

大塚製薬株式会社とテバファーマスーティカル・インダストリー社（テバ社）は、テバ社と同日本子会社が開発中の片頭痛予防薬「フレマネズマブ」について、日本国内における開発及び販売に係る独占的ライセンス契約を締結。

今後、大塚製薬はテバ社及び同日本子会社の協力を得て日本における臨床試験を実施し、日本国内において独占的に販売を行う。

出典：大塚製薬プレスリリース (<http://www.otsuka.co.jp/company/release/detail.php?id=3271>)

SBI らが BIOMX 社に計 2,400 万ドルを投資（22 日）

特定のバクテリアを選択的に殺す治療技術を有するイスラエルのスタートアップ BiomX が、2,400 万ドルの調達を終了。2015 年にワイツマン自然科学研究所の研究者らによって設立されたスタートアップ。

BiomX 社はこれまでに FutuRx インキュベーター、OrbiMed、ジョンソン・エンド・ジョンソンイノベーション、タケダベンチャーズなどから投資を受けていた。今回新たに投資家に加わったのは、仏 Seventure、印 Mirae、そして日本の SBI である。

出典：報道 (<http://www.globes.co.il/en/article-israeli-startup-seeking-to-replace-antibiotics-with-phages-1001189578>)

展示会・国際会議の今後の予定

- ※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。
- ※日本からお越しになる方には、現地企業との個別アポイント等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

スタートアップ DLD TEL AVIV（9月3～7日、テルアビブ）

スタートアップの祭典。多数の技術系スタートアップに加え、ベンチャーキャピタルや、多国籍企業のR&Dセンター、海外企業等が来訪する。ハイテク分野での国際会議・展示会。街全体を巻き込んだスタートアップ展示やミートアップイベントなどが開催される。

<http://www.dldtelaviv.com/>

水技術 WATEC 2017（9月12～14日、テルアビブ）

水・環境技術に関する国際展示会。水・エネルギー・環境分野の企業が主として参加し、新たなビジネスパートナーや投資家等を見つける機会となる。水技術に関するカンファレンスや専門家パネル等のイベントも多数併催される。

<http://watec-israel.com/>

スポーツ技術 APCST（10月15～19日、テルアビブ）

スポーツテクノロジーに関するアジア太平洋会議。科学者、起業家、産業界の代表を対象とし、21世紀のスポーツと関連技術についての新たなソリューションに関する議論の場を提供。対象は、軍の兵士からオリンピック選手まで幅広い。

<http://apcstcon.com/>

セキュリティ NEXTECH 2017（10月18日、ベエルシェバ）

南部都市ベエルシェバにて開催される次世代技術の展示会。イスラエルのサイバーセキュリティ技術の開発拠点となるベエルシェバの地で、ベングリオン大学や国防軍、関連企業などで生み出される最新技術がお披露目される。

<http://www.nextech-conference.com/>（配信時点でウェブサイトは昨年情報）

医療 CAST（10月22～23日、テルアビブ）

脳卒中治療のための包括的アプローチ（Comprehensive Approaches in Stroke Treatment）についての学会。

<http://cast-meeting.com/>

医療機器 IDAN（10月24～26日，テルアビブ）

歯科産業に関する展示会。医療機関や研究機関が、歯科に関する装置について学ぶとともに、適正価格で購入が可能。

<http://www.dentalshow.net/>

医療 RCINGSCM（10月31日～11月1日，ヘルツェリア）

臨床マイクロラボにおける次世代シーケンシングの地域的能力構築に関する、3日間の国際ワークショップ。

<http://congress.co.il/ESGMD-NGS-workshop/>

産業技術 TECHNOLOGY2017（10月31日～11月2日，テルアビブ）

産業技術分野の国際展示会。第24回を迎え、イスラエルにおける同種の展示会の中でも最大級である。今年は15,000人の来場が見込まれる。展示会と共に、セミナーやB2Bミーティングも開催。

<http://www.fairs.co.il/en/tech/>

医療 イスラエル麻酔学会国際会議（11月7～8日，テルアビブ）

3年ごとに行われるイスラエル麻酔学会の国際学会。欧州麻酔学会の年次会議も併催される。今回のテーマは「現代における麻酔：いつでも、どこでも」。

<http://icisa2017meeting.com/>

無人機 UVID 2017（11月9日，エアポート・シティ）

遠隔無人運転（Remote Unmanned Vehicle）に関する国際会議。例年20カ国以上から約1,500人が参加している。昨年のテーマは「On the Brink: Remote Unmanned Vehicles Entry into the 3rd Generation」。

<http://uvid2016.israeldefense.co.il/>（昨年情報）

<http://conferencesandexhibitions.israeldefense.co.il/idf-smartforms/node/253>（2017年のウェブサイトは未公開のため、今後情報配信を希望する場合は上記より登録）

空調設備 ACLIMA（11月7～9日，テルアビブ）

空調，冷蔵，暖房，換気設備，及びエネルギー効率に関する国際展示会。2年に一度開催。

http://www.stier.co.il/ACLIMA/index_en.asp

家具 TIMBER 2017（11月21～23日，テルアビブ）

木工家具の展示会。イスラエル企業約 300 社に加え、前回は 18 カ国から出展があった。木工家具製造のコンピュータ化なども反映されている。

<https://www.itex.co.il/sblisraelEN.aspx>

食・サービス FOOD & HOSPITALITY WEEK（11月28～30日、テルアビブ）

食産業・サービス産業に関するイベントを集中的に実施する「フード&ホスピタリティウィーク」の一環として、食品・飲料品の国際展示会「ISRAFOOD」、サービス業の設備に関する国際展示会「HOTEX」、キッチン・レストラン用品を扱う「KITEX」、製菓・製パン業関連製品を扱う「Bake-Cake」が開催される。

http://www.stier.co.il/ISRAFOOD/index_en.asp

http://www.stier.co.il/HOTEX/index_en.asp

<http://www.fairs.co.il/en/fairs-event/bake-cake/>

<http://www.fairs.co.il/en/fairs-event/kitex/>

ライフサイエンス ヘルスケア技術革新（12月3～6日）

テルアビブ大学経営大学院と IATI が共催する、エグゼクティブ向け教育プログラム。ライフサイエンス産業を牽引する指導者層を作り出すことを目的としており、今年で 11 回目の開催。今年のテーマは「ヘルスケア技術革新 – アイデアから商業化へ」。

<http://biomedmanagement.tau.ac.il/>

医療 ICI 2017（12月3～5日、テルアビブ）

心血管系（心臓、脳及びその周辺）におけるイノベーションと、ライフサイエンス分野のハイテク産業に関する国際会議。中国と協力した「Wall-to-Wall- East Meet West」セッションが設けられる。

<http://2017.icimeeting.com/>

都市 MUNI EXPO（2018年2月13～14日、テルアビブ）

イスラエルの地方自治体連合の年次イベント。イスラエルの 257 の地方自治体の幹部や、地方所在企業などが参加する。イスラエルの国内外のサプライヤーや地方企業などが一同に介し、ビジネスの出会いの場を得る。今年のテーマは「イノベーションとスマートシティ」。

<http://www.muniexpo.co.il/%D7%9E%D7%95%D7%A0%D7%99-%D7%90%D7%A7%D7%A1%D7%A4%D7%95muni-expo-5/>

医療 国際 ADHD 会議（2018年3月19～21日、テルアビブ）

慢性障害 ADHD に関し、その症状や臨床、診断、治療などを取り上げる国際学会。

<http://2018.adhdcongress.co.il/>